

大問 I. 出題意図

文化人類学者である石原真衣氏による「ダイバーシティ（多様性）推進」についての文章から出題した。本問題は、筆者が用いた比喻表現や論理展開を正確に読み取り、その主張の趣旨を自分の言葉でまとめる力を問うものである。さらに、筆者の考えを踏まえた上で、自分の意見を具体的かつ論理的に展開する力を評価することを目的とする。

[問1] 「無色透明」という比喻表現が象徴する意味を理解し、筆者の意図に即して説明できるかを問う。「多数派」と「特権性の無自覚」という関係を読み取り、具体的に言語化する力を評価する。

[問2] 筆者の主張理解を中心に、本文の論理展開を整理し、自分の言葉で的確にまとめる力を問う。特に「特権性の自覚」から「他者への理解」「互いを尊重する」「多様性社会」へと至る筆者の思考の流れを把握し、それを要約できているかを評価する。

[問3] 本文理解を基盤に、筆者の主張を自分の経験や社会的事例と関連づけて論理的に展開する力を問う。「筆者の考えを踏まえる」という条件のもとで、自分なりの視点から「尊重し合える社会」を考察し、説得的に表現できるかを評価する。

大問Ⅱ．出題意図

近年のグローバルな課題である難民問題を題材とした研究書からの出題である。2010年代の難民危機を背景に、従来の国際難民支援制度の限界を克服するための一つの方策として、難民当事者の経済的エンパワーメントに着目するという重要な論点を提示している。英文を正確に読み解くために必要な語彙・文法知識と、文章の内容から自身の意見を整理して論理的に記述する能力を確認した。

[問 1] 国際的な難民支援の枠組みが抱える構造的問題について、筆者は端的に整理している。すなわち緊急支援に終始した既存の難民支援制度では、難民キャンプでの避難生活の長期化と支援への依存を招いている。ここでは水や食料などの「物質的な支援」が必ずしも問題の解決にはならないという筆者の主張を正確に読み取ることが求められる。

[問 2] 筆者は緊急支援だけでなく、難民の経済的主体性に着目するという新しいアプローチを提案している。難民の自立性を尊重するという筆者の主張の根幹を理解した上で、国際的課題に対する自身の意見を論理的に記述することが求められる。